

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事作りでは一緒に献立を考え一緒に調理、盛り付けを行っているが利用者と一緒の物を食べるという事は行ってない。食事の味付けなど話しながら、ゆっくりと食事を楽しむことができていない。	週に2~3回一緒に食事を食べ感想など話しながら食事を楽しむ。	検食をしていなかったので一緒に食事をする事で感想を話す。次はこんな味付けにしてみよう、とか、こんな料理法もあるね、など話していく。まずは昼食から始める。月2~3回から行う。	6ヶ月
2	20 23 26	ふるさと訪問を行っているが外出することだけの目的となっており、ふるさと訪問をするために日々どう過ごすかが個別性がなく、ただ単に外出することとなってきている。	ふるさと訪問の名称の変更 日々の生活支援に訪問の事を踏まえた関わりができるようになる。	ミーティングにおいてふるさと訪問について話し合う。時期や回数も利用者個人によって変えていく。 ケアプランに反映し、だれもが支援することでその目標が達成できるようにする。	12ヶ月
3	55	午後リハビリ体操を行っているが、高齢化に伴い利用者個人によってできること、出来ないことがあり機能低下が心配される。	個人別にリハビリプログラムを作成しその方に合ったリハビリ、運動を行い機能維持をめざす。	個人別リハビリメニューの作成。 メニューに合わせ運動を行う。定期的なモニタリングによりメニューの見直しを行い、いつまでも自分らしく生活できるよう支援する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。